

（株）島津製作所 瀬田事業所

# 2005年環境報告書

2005年11月4日

## <事業所概要>

所在地 大津市月輪1丁目8番1号

事業所名 株式会社 島津製作所瀬田事業所  
 [敷地面積 35,560 平方メートル]  
 [全建屋投影面積 14,217 平方メートル]

代表者 所長 岩崎正弘

本社所在地 京都市中京区西ノ京桑原町1番地

## <主な事業所内企業>

企業名 (株) 島津製作所  
フルイディスク機器部

従業員数 8名  
 営業品目 油圧ポンプ・油圧モーター  
油圧バルブ等の企画・開発

本社所在地 京都市中京区西ノ京桑原町1

企業名 島津メクテム (株)

代表者名 取締役社長 佐藤修一  
 資本金 100百万円  
 従業員数 120名  
 営業品目 真空熱処理炉・歯車ポンプ  
工業用X線検査装置  
ガラスワインダーの製造・販売

企業名 島津ハイドロリクス (株)

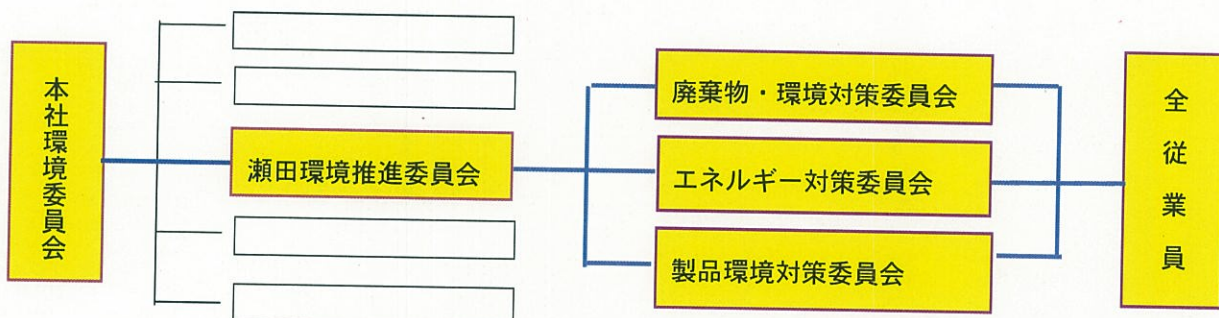
代表者名 取締役社長 北野成一  
 資本金 30百万円  
 従業員数 150名  
 営業品目 油圧ポンプ・油圧モーター  
油圧バルブ等の製造

企業名 島津ロジスティクスサービス (株)

従業員数 10名  
 主な業務 製品出荷

その他常駐企業 8社  
 従業員数 35名  
 主な業務 運搬・警備・清掃他

## <環境改善運動組織>



## ＜所長ご挨拶＞

当事業所の環境改善活動は、(株)島津製作所本社（京都市）が定める環境方針に基づき、瀬田事業所内の関係会社（島津メクテム(株)・島津ハイドロリクス(株)等）および各協力事業所が一体となって、2001年2月に大津市と環境保全協定を締結し、同年6月にはISO14001認証を取得した時にスタートしております。これまで「廃棄物の分別処理やリサイクル率の向上」と「電気エネルギーを主とした削減運動」を一つの大きな柱とし、もう一つは滋賀県内で事業活動をさせていただく企業の責務として「琵琶湖の水質保全活動」を柱に改善活動を推進してまいりました。その結果として、2003年には社員食堂の厨房廃水の浄化に「パッキ式バイオ浄化装置」を設置。2004年度には省エネ型水銀灯を導入し事業所全消費電力の2%相当のエネルギーを削減。そして2005年度末には廃棄物のゼロエミッション（目標99.5%）が実現できる見込が立つなど、順調に成果を上げてまいりました。

4年を経過した今、これからは目の前にある小さな環境改善を事業所あげて全員が取り組み積み重ねていくことが、活動の源として認識し精進していく所存です。

先進企業の各位および先輩諸氏の一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

文末になりましたが、以下に弊社の環境方針を掲示させていただきます。

2005年11月4日

(株)島津製作所瀬田事業所 所長 岩崎正弘

### 1. 基本理念

人類の健康と地球規模の環境保全は全世界共通の願いであり、社会の一員として地球環境問題を当社の最重要課題の一つとして位置づけ、当社経営理念「人と地球の健康」への願いを実現するべく企業活動を行い、地球を守り豊かな社会の実現に資する。

### 2. 基本方針

当社本社地区事業所は、本社機能、環境分析・測定機器、などを含む、分析機器、計測機器、試験機器、医用機器、航空機器、油圧機器、産業機器、バイオプロダクツ及びセンサ・デバイス、理化学器械の開発・製造の拡大に努めるとともに、本社地区事業所製品ならびにその製造過程及び関連サービスが環境に与える影響を的確に捉え、持続的な環境負荷の低減と社会の環境改善への積極的貢献を目指して、次の基本方針に基づき活動する。

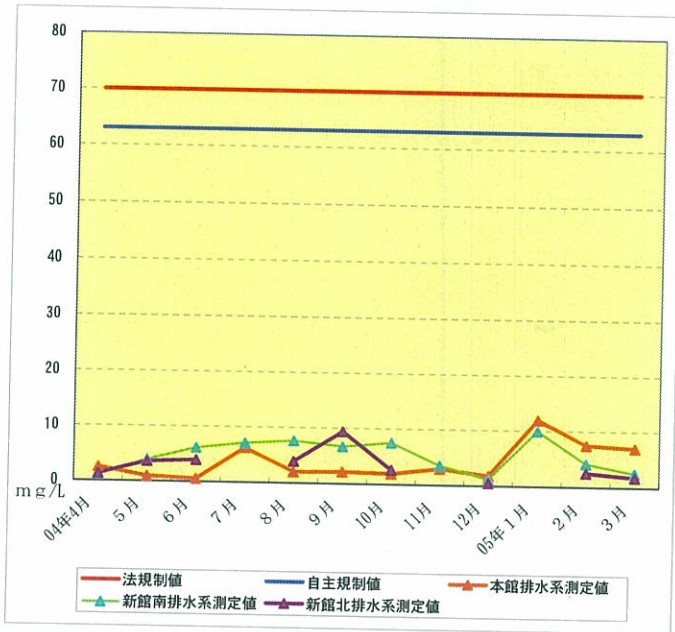
- (1) 地球環境の保全と事業活動との調和を、経営の最優先課題の一つとして、本社地区事業所をあげて取り組む。
- (2) 地球環境の保全活動を推進させるため、従業員及び敷地内で働く請負者全員が活動できる組織を整備する。
- (3) 事業活動によって生じる環境への影響（環境汚染、資源減少、地球温暖化、オゾン層破壊など）を的確に把握し、技術的、経済的に可能な範囲で、環境保全活動の継続的な向上を図る。
- (4) 国際的環境規制及び国、地方自治体などの環境規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守する。また、必要に応じて自主基準を策定して環境保全に努める。
- (5) 当社本社地区事業所が行う事業活動が、環境に与える影響のうちで、特に以下の項目について優先的に保全活動を推進する。
  - ① 持続的な環境負荷の低減と社会の環境改善へ向け、積極的な環境貢献製品の開発を行なう。
  - ② 本社地区事業所で開発製作する製品が環境に与える負荷を低減する。
  - ③ 環境に配慮した物品及びサービスの調達を積極的に推進し、地球環境負荷の低減を図る。
  - ④ 蓄積された環境保全のノウハウを使って外部の環境活動を支援する。
  - ⑤ 汚染物質が公共用水域に流出しないように排水水質の管理を徹底すると共に、汚染予防措置を図る。
  - ⑥ 環境へ著しい影響を及ぼす化学物質等の使用量削減と管理並びに生産設備等の改善・維持管理を徹底し、汚染予防を図る。
  - ⑦ 電子媒体の徹底活用等による紙（コピー紙）の使用量削減、及び廃棄物の削減とリサイクル推進を図る。
  - ⑧ 生産設備及び空調設備等に係わるCO<sub>2</sub>の削減を図る。
  - ⑨ 非常時・緊急時に有害物質及びオゾン層破壊物質等が環境に著しい影響を及ぼさないよう予防措置に努め、その訓練を行う。
  - ⑩ 本社地区事業所敷地内より発生し、敷地周辺に及ぶ騒音を抑え、近隣社会の生活環境の保全を図る
- (6) 地球環境保全に従業員及び敷地内で働く請負者が責任をもって取り組むべく、環境教育及び啓発活動を行い、地球環境保全に資する。
- (7) 地域住民、関係諸官庁とのコミュニケーションを図り、地域社会に貢献する。

## ＜主な環境改善活動＞

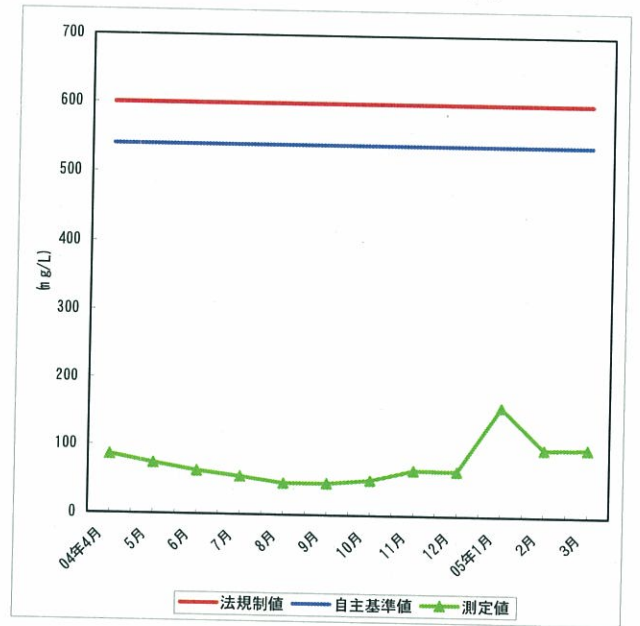
- ・ 2004年 3月 ISO14001 2004年度版による新年度環境改善計画を決定
- ・ 2004年 4月～5月 環境マネジメントマニュアルに基づく特別教育・緊急訓練および一般教育の実施
- ・ 2004年 4月～ 新環境改善計画にもとづく、全従業員による改善活動の実施
- ・ 2004年 6月 (株)日本環境認証機構による外部審査を実施
- ・ 2004年 7月 琵琶湖を美しくする運動参加（島津メクテムは、40年間連続参加）
- ・ 2004年 11月 内部監査の実施
- ・ 2005年 3月 省エネ型水銀灯（238灯）に改善した結果、消費電力約17.3万KWh/年削減できた。

《2004年度環境改善活動実績の一部》

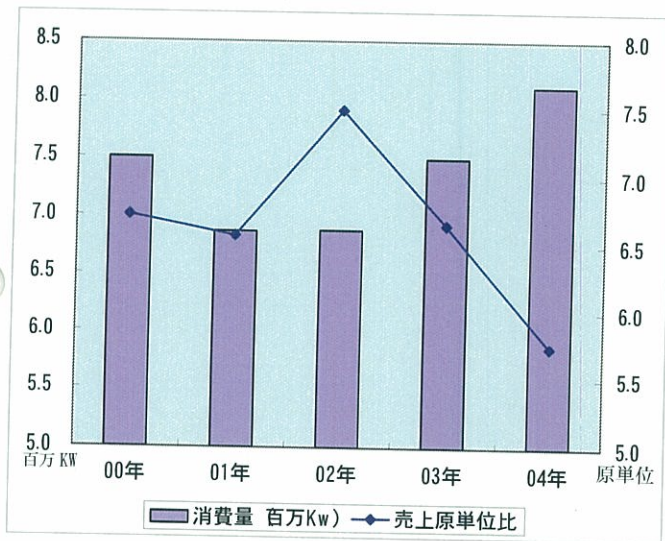
河川排水管理 (BOD 値)



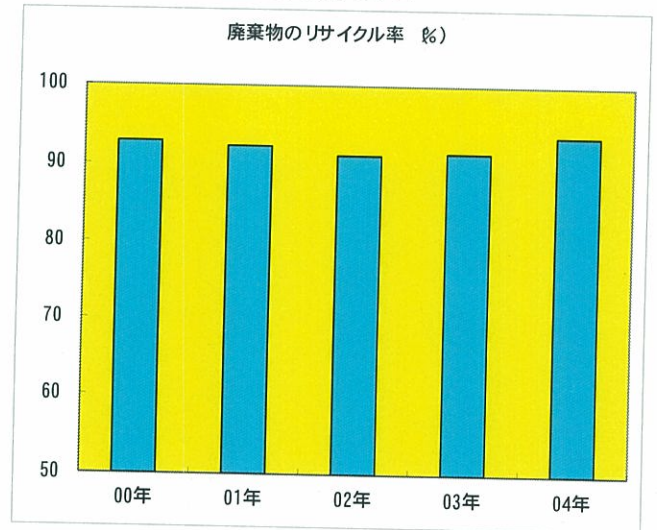
下水 (厨房) 排水管理 (BOD 値)



エネルギー管理 (電力量)



廃物排出管理



以上